

特別功労賞の推薦書 実績・功績資料集

- 1、氏名；木下堯博（きのしたあきひろ） 昭和8年12月23日生まれ
- 2、現住所；811-4163 福岡県宗像市自由ヶ丘10-10-8

目次

社会貢献活動

- 1, 東日本大震災への支援活動 1 p
- 2, 印刷文化の啓蒙 4 p
- 3, 本木昌造顕彰会 11 p

業界貢献活動

- 4, 新しい印刷メディア系専門職業大学の創設へ 13 p
- 5, 印刷産業に於ける人財育成 17 p
- 6, インターンシップの印刷産業への導入 22 p
- 7, 印刷教育研究 26 p
- 8, 印刷産業に於ける環境問題資料集 31 p
- 9, drupa2012 に見る今後の印刷界 37~45 p

(全45頁)

JaGra 特別功労賞の推薦書

- 1、氏名；木下堯博（きのしたあきひろ） 昭和8年12月23日生まれ
- 2、現住所；811-4163 福岡県宗像市自由ヶ丘10-10-8
- 3、本籍地；東京都荒川区西日暮里5 860
- 4、最終学歴；昭和31年3月千葉大学工学部工業化学科印刷学専攻卒、東京大学工学博士
- 5、勤務先；国際印刷大学校 東京都東村山市青葉町2-29-12
- 6、業績；印刷メディア研究60年（グラフィックアーツ学研究6分野）
- 7、履歴；昭和31年4月～ 名古屋市立工芸高校印刷科教員 昭和39年西ドイツ留学
昭和43年4月～ 九州産業大学助教授（写真製版印刷学担当）
昭和50年4月～ 同大学教授、教務部長、芸術学部長併任、名誉教授
平成12年6月～ 国際印刷大学校学長、平成27年（2015年）4月現在に至る。

、社会に貢献した実績（直近で主たるもの）（2011年～2015年）page は論文

1) 東日本大震災への支援活動；（2011年3月～2012年12月）1page

平成23年（2011年）3月11日の東日本大震災に対しいち早く、救助・支援体制を構築し、福島・宮城・岩手各県の印刷企業に対して不足する物資を韓国から輸入した。そのため、日韓共同支援センター（1）を立ち上げ、斗山重工業、永進専門大学などの協力を得た。これら内容は印刷情報誌（平成23年6月号）第1報から平成24年12月号第20報でまとめている。（2）

2) 印刷文化の啓蒙；（2011年9月11日）4page IGAS2011 記念「日韓印刷文化シンポジウム」を東京ビックサイトで行い、印刷文化の両国の歩みから印刷文化の啓蒙を行った。（3）

3) 本木昌造顕彰会；（毎年9月3日）11page 長崎市の大光寺で本木昌造顕彰会が行われ、毎年墓参に参加し、100～130回忌の大きな節目には各種行事が行われている。120回忌の座談会では博物館建設を主張し、世界の印刷博物館の論文をまとめた。また、大串氏が本木昌造の種字（父型）から再現した活字が明治10年の筑紫新聞が本木活字であることを実証した2014年の九州大学での博士論文をサポートした。2015年9月3日は140回忌（4）

、業界に貢献した功績（直近で主たるもの）（2012年～2015年）

4) 新しい印刷メディア系専門職業大学の創設へ（第1報）印刷教育研究会報 No.118

（2015年4月）、印刷界2015年6月号（第2報）、印刷界7月号（第3報）（5）

5) 印刷産業に於ける人財育成、印刷情報（2015年3月号）（6）13～17page

6) インターシップの印刷産業への導入、日本印刷学会研究発表会

（京都工芸繊維大学、2014年11月21日）（7）22page

7) 印刷教育研究（第1報）～（第7報）印刷情報2013年1月号から）（8）26page

8) 印刷産業に於ける環境問題資料集（253頁）、（202頁）（2013年10月）（9）31page

9) drupa2012に見る今後の印刷界、月刊グラフィックサービス（2012年7月）（10）37page

10) その他Pマーク審査委員（JaGra）、ジョブカード構築（東京グラフィックス）、

印刷用語辞典改定（日印産連）などに参加。45page